

市民バス アンケート結果

市民バスを 利用していただけますか



昨年10月から試行運転が始まった市民バス。より多くの人に利用してもらうことを目指し、これまで2回のダイヤ改正や路線の見直しなどを行ってきました。いよいよ10月から本格運行となりますが、市民皆さんの声を取り入れたものにしようと今年2月、市内在住の900人を対象に「登米市公共交通試行事業（市民バス）に関する市民アンケート調査」を実施しました。今回、その結果がまとまりましたので報告します。

【調査期間】
平成18年2月21日（火）～3月1日（水）

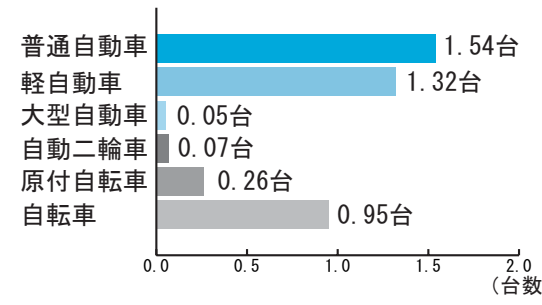
【調査対象者】
市民の中から旧町域別に各100人を無作為抽出、合計900人

【調査方法】
調査対象者への配布および回収は、行政区長に依頼

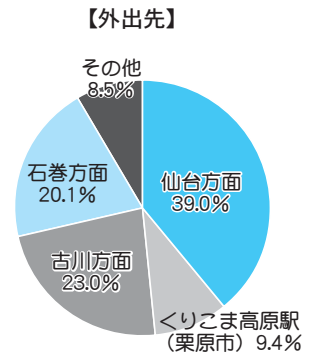
【回収数】
786件（回収率87%）

地域別	配布枚数	回収枚数	回収率
迫 町	100	94	94%
登 米 町	100	84	84%
東 和 町	100	91	91%
中 田 町	100	87	87%
中 里 町	100	87	87%
米 山 町	100	77	77%
石 越 町	100	88	88%
南 方 町	100	91	91%
津 山 町	100	87	87%
市全体	900	786	87%

は、普通自動車1・54台、軽自動車1・32台となっており、普通・軽自動車合わせて約3台を所有していることとなります。



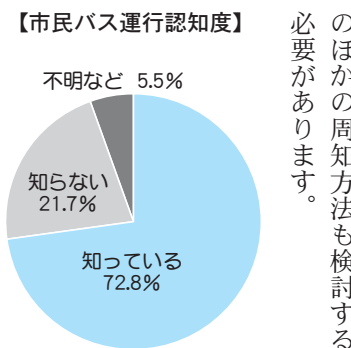
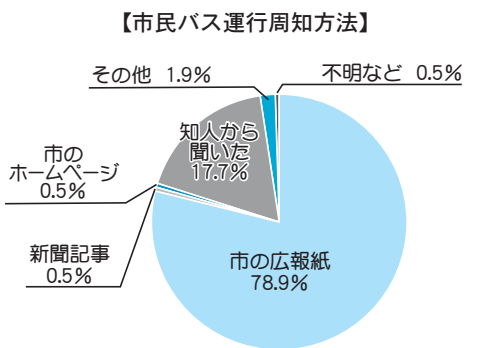
□外出先は？
仙台方面が39・0%を占め、次いで古川、石巻方面の順となっています。



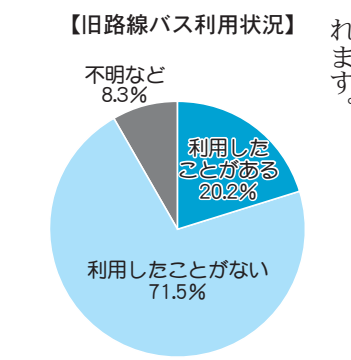
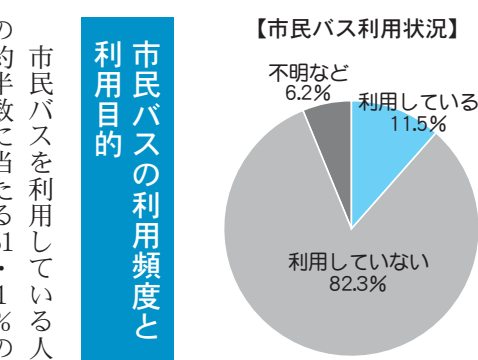
【移動方法】

外出先	移動方法				
	自家用車など	家族知人送迎	バス	JR	その他
仙台市	55.0%	15.6%	15.0%	14.1%	0.3%
くりこま高原駅（栗原市）	66.2%	28.2%	1.4%	1.4%	2.8%
古川方面	82.7%	15.5%	0.6%	1.2%	0.0%
石巻方面	75.8%	16.1%	2.0%	5.4%	0.7%
その他	63.7%	24.2%	7.6%	1.5%	3.0%

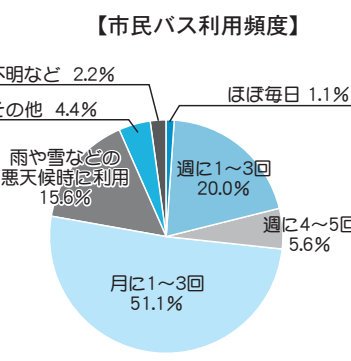
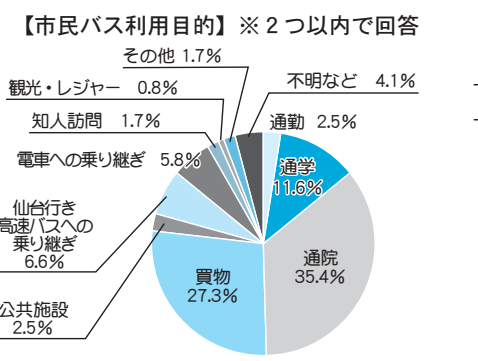
□移動方法は？
自家用車、家族知人の送迎が上位2項目となりました。バスによる外出先を見ると、仙台市が15・0%と、ほかの外出先に比べ高い割合になっています。これは、迫・登米庁舎からそれぞれ発着する高速バスによるものだと考えられます。仙台市へはJRの利用も14・1%と高く、バス、JRの発着に合わせた時刻を設定する必要があります。



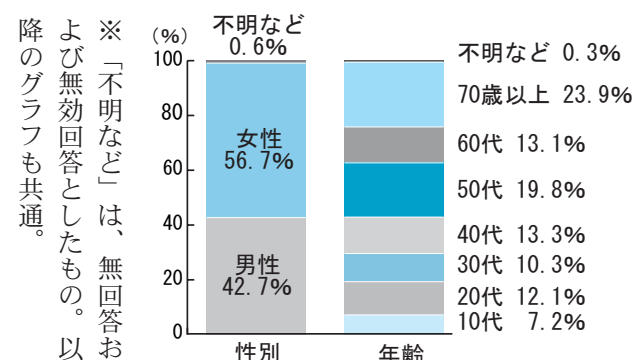
□市民バスの運行認知度
「知っている」と回答した人が全体の72・8%となりました。その認知の度合いは、「市の広報紙」が78・9%と最も高く、周知方法として有効な手段だと思われます。ただ、21・7%の人が「知らない」と回答しており、そのほかの周知方法も検討する必要があります。



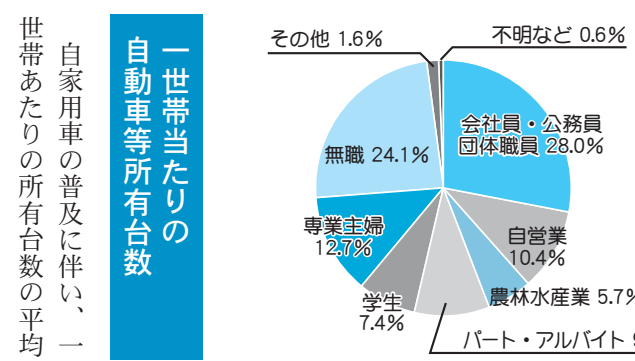
□旧路線バス、市民バスの利用状況
旧路線バスを「利用したことがある」20・2%に対し、市民バスを「利用している」人が11・5%と市民バスの利用者は旧路線バスの約半分になっていますが、これは運行してから3カ月後の調査ということが影響していると思われます。



人が、「月に1~3回」利用しており、次いで「週に1~3回」となっています。利用の目的としては、「通院」35・4%、「買物」27・3%、「通学」11・6%の3つで74・3%となっています。中でも「買物」の利用が上位で、商店街などの活性化の観点からも、商店街や大型店舗付近へのルート設定、バス停整備などの検討が必要です。



性別は男性42・7%、女性が56・7%、年齢は70歳以上と回答した人の占める割合が23・9%と最も多く、次いで50代（19・8%）、40代（13・3%）、60代（13・1%）の順になっています。



会社員・公務員・団体職員と回答した人の占める割合が28・0%と最も多く、次いで無職の24・1%の順となっています。